

# 漢方・鍼灸を活用した日本型医療の創生のための調査研究

## 第二回会議「科学的根拠の現状と課題(エビデンスの創出のために)」

漢方のエビデンスにRTCは不向き、データマニングによる構築を  
1月18日(月)に行われた第2回会議では、臨床的エビデンス(科学的根拠)が必要とされている。渡辺賢治氏(慶應義塾大学)は、「漢方医学的な証や診断が経験知であり、治療そのもののエビデンスが不足している。漢方専門医以外に使用処方に限られている」と述べ、データマニングの手法によるエビデンスの構築を提唱。証の現代的表示や漢方・鍼灸治療を標準化を実現し、総合医の誰かが漢方・鍼灸を使える診療支援を行うとした。

データが増えるほど予測の正確率が高まるという。データ作り、現場に多様なエビデンスを必要とあり、漢方のエビデンスについて生薬の観点から「メソッド」した木内文之氏(慶應義塾大学薬学部)は、「生薬の品質にはばらつきがある。施療者は知識と経験により患者に合わせ処方して来た。現在では健康保険適用が認められたことによりエキス製剤が普及しているが、品質を総てコントロールできていない。気候、育成年数、収穫時期等によって成分が異なる。エビデンスの創出研究にあたっては、同一ロットの生薬を使用してデータをつくる必要がある。成分パターンが一定した生薬を使用できるシステムがある」と述べた。

一方では「臨床の場において、生薬、漢方処方の方の多様性を維持しておくことも有用」と主張。「一つの生薬でも使用する目的で有効成分が異なる、指標成分の含量のみが高い生薬が治療効果が低いとは限らない」「成分パターンが一定した生薬を使用し、効果的かどうか比較試験を行える環境が望ましい」と専門領域からの意見を述べた。

◆教育体制と環境を整備し鍼灸の臨床研究を促進  
鍼灸のエビデンス創出

仕組まれている」として「日本の対応は遅れている」と指摘した。国際医療福祉大学大学院の開原成允氏は「日本の電子カルテの普及は世界に比べて劣っていないが、標準化という点では遅れている。使い勝手の良さや優先され、メーカーによる違いがあるため、データベースを作成出来ない現状がある。標準化の試みも幾つかあるが、全国的な広がりについては実現できない」。

◆データ項目増え患者の負担、効果的収集を医師の対馬ルリ子氏は「漢方は未病を治すのが特徴。データに食する物や生活習慣などを含めるといい」と述べたが、渡辺氏は「解析システムの入力項目が増えると患者の負担になるが、項目内容の範囲について今後の検討は可能」と回答。宮野氏は「解析方法を標準化してデータを効果的に集めることが必要」と述べた。

◆はつきりものを言えるようにするには漢方薬の品質を揃える必要がある  
生薬の品質の問題について渡辺氏は、「昔は医者が生薬の買付けまですべて行い、効果を見ながら追加減をしていたが、それではデータとなりにくい。実際には生薬を少し変えただけで効果が異なることはあるが、データ化には決まったエキス製剤に絞るしかない」と述べた。

◆価格の上昇、収穫までに年月を要する漢方生薬「質・量の確保は至難の業」  
強く理解を求め生薬業界

◆農業側を含めた研究の場、広く国民の理解を  
渡辺氏は「国内国外問わず、種苗の確保と栽培技術の確立が必要。特に国内産生薬については質・量の確保と経済性について農業側を含めた研究の場が必要。それを進展させるには、日本の医療に

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

## 第三回会議「生薬資源の現状と課題(安全確保と地域振興に向けて)」

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

# 新理論「アレルギー疾患は胃・腸に原因がある

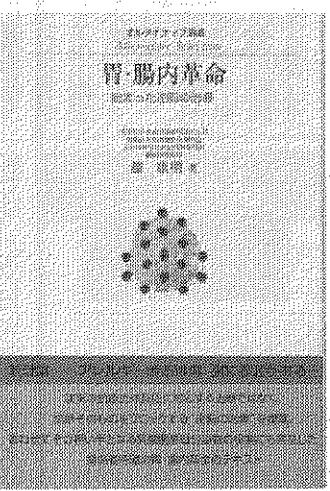
オルタナティブ選書

## 胃・腸内革命

医療法人社団 趙康明 著

始まった逆転の治療

真の健康・美しさは胃・腸内環境の改善から  
従来の抗原・抗体反応に対応する治療ではなく、  
抗原そのものをブロックする「逆転の治療」を提案  
その担い手「乳酸菌酵母分泌物」に言及、待望のテキスト



B6判並製 164頁 カバー装  
定価1050円(税込)

お問い合わせは 株東洋医学舎  
〒135-0047 東京都江東区富岡1-11-5-203  
☎03-3630-6151 FAX03-3643-3431  
http://www.toyoigakusha.co.jp

## 東洋医学舎の本

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

◆「植物工場」とは  
植物工場とは経済産業省が普及広報している植物工場として、「完全人工型」と「太陽光利用型」の二つのタイプがあり、全国に50カ所ある。同省の杉本敬次植物工場は「天候の影響を受けないため、一年中安定生産が可能。場所を選ばず狭い土地でも栽培できる。また作物の形・大きさ・品質・栄養素の含有量を高めることも可能。農業を使用しないため安全安心。課題は施設のコスト、光熱費が高い」と紹介。「日

